

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



斑葉モザイク病



- モモの**生育初期**に見られる気になる症状について紹介します。
- 展葉直後の葉に**黄色の斑模様**が見られることがあります（写真）。
- この症状は葉のみに発症し、奇形や表面がひきつれた症状が出る場合もあります。
- 黄色の斑は、**気温の低い時**には鮮明ですが、6月以降になり**気温が上昇**すると**消滅**します。
- 本病はウイルス病の一種と考えられています。ただし、症状の有無と収量や品質との関連は明らかでなく、症状が見られても**実用上の影響はありません**。



写真. モモの葉に見られるモザイク症状（令和5年5月2日）



畑でカミナリに遭ったら



- 気温の上昇とともに**カミナリ**の発生頻度が高まる季節となりました（写真）。
- カミナリへの対応は、まずは普段から**気象情報に注意**し、急な発生に備えることです。
- 雷雲が10km以内に近づくと最初の雷鳴が聞こえ始めます。移動速度は**30km/時**程度なので**20分後**に雷雨に遭うと予想されます。
- これはかなりの高速度なので自宅や作業小屋などに**早めに移動**するのが望ましいと思います。
- 雷雨が降りだしても**自動車や家屋内**に退避すれば落雷の危険性はありません。屋外で待機しなければならない場合は、**樹から離れ、身を低くして嵐が通り過ぎるまで20~30分間待機**するしかありません。



写真. 激しい雷雨とともに発生する稲妻